

## 社会民主労働党から共産党へ

### 現在の革命におけるプロレタリアートの任務について

テーゼ 九 党の任務。

……………

(ハ) 党名の変更。(注)

レーニンの(注)…その公式の指導者たちが、全世界で社会主義を裏切り、ブルジョアジーのわがに寝がえってしまった「社会民主党」(「祖国防衛派」と動揺的な「カウツキー派」)という名称のかわりに、われわれは**共産党**と名のるべきである。

※……………は青山の略

第 24 卷 P6 「現在の革命におけるプロレタリアートの任務について」 1917.4.7

### 二重権力について

あらゆる革命の根本問題は国家権力の問題である。この問題をあきらかにしなければ、革命への意識的な参加などはまったく問題になりえないし、まして革命を指導することなどはおよびもつかない。

わが国の革命のきわめて顕著な特異性は、それが**二重権力**をつくりだした点にある。なによりもまず、この事実を理解しなければならない。このことを理解しないかぎり、さきへすすむことはできない。たとえば、われわれは、ボリシェヴィズムの古い「公式」を補足し訂正する能力をもたなければならない。というのは、これらの公式は、その後あきらかになったように、一般的には正しかったが、その具体的な実現はちがった形でおこなわれたことが、**あきらか**となったからである。以前には、**だれひとり**、二重権力などというものを考えたものはいなかったし、また考えることもできなかった。

二重権力はどのような点にあるか？ **ブルジョアジー**の政府である臨時政府とならんで、まだ弱く、萌芽的なものではあるが、とにかく疑いもなく実在して成長をつづけている、**もう一つの政府**が、すなわち労働者・兵士代表ソヴェトが、成立している点にある。

この第二の政府の階級構成はどういうものか？ プロレタリアートと(軍服を着た)農民とである。この政府の政治的性格はどういうものか？ それは革命的独裁である。すなわち、中央集権的な国家権力によって発布された**法律に基礎をおくのではなくて**、革命的奪取に、下からの人民大衆の直接の発意に、直接に基礎をおく権力である。それは、これまで普通であった、ヨーロッパとアメリカの先進諸国で支配的となっている型の議会制ブルジョア民主主義共和国に一般に存在している権力とは、まったくちがった種類の権力である。この事情はしばしばわすれられており、しばしばよく考えられていないが、しかし、これこそ問題の全核心なのである。**この権力は 1871 年のパリ・コンミュンと同じ型の権力**である。この型の基本的な標識はつぎのようなものである。(一) 権力の源泉は、あ

らかじめ議会によって審議され承認された法律ではなくて、下からの、各地における人民大衆の直接の発意であり、流行の用語をつかっていえば、直接の「奪取」である。(二) 人民からはなれ、人民に対立する機関としての警察と軍隊が、全人民の直接の武装に代えられる。こういう権力のもとで国家秩序を維持するのは、武装した労働者・農民**それ自身**、武装した人民**それ自身**である。(三) 官吏・官僚も、これまた人民自身の直接の権力に代えられるか、すくなくとも特別の監督のもとにおかれ、人民に選出されるばかりか、人民が要求すればいつでも**代えることのできるもの**となり、単なる代理人の地位に引きおろされる。彼らは、その「地位」にたいしてブルジョアなみの高給をもらう特権層ではなくなつて、熟練労働者の普通の賃金を**こえない**俸給をもらう特別の「兵種」の労働者となる。

この点に、**ただこの点だけに**、特別の型の国家としてのパリ・コンミュン**の本質**がある。プレハーノフら（マルクス主義を裏切った、おおっぴらな排外主義者）や、カウツキーら（「中央派」、すなわち、排外主義とマルクス主義のあいだを動揺している人々）や、一般にいま支配的な社会民主主義者や、社会革命派、その他の諸君はみな、この本質をわすれ、歪曲した。

彼らは、空文句でお茶をにごし、頬かぶりをし、逃げ口上を張り、おたがい同士で千度も革命おめでとうと言いつつあつては、労働者・兵士代表ソヴェトとは**いったいなんであるか**については、**すこしも考えよう**とはしない。これらのソヴェトが存在しているかぎり、それらが一つの権力である**かぎり**で、ロシアにはパリ・コンミュン**型**の国家が存在しているという明白な真理を、彼らは見ようとしぬ。

私は「かぎりで」という言葉に傍点を打った。なぜなら、これは萌芽的な権力にすぎないからである。この権力は、ブルジョア的臨時政府との直接の協定によって、また幾多の事実上の譲歩によって、みずがらブルジョアジーに陣地を**あけわたしたし**、**いまもあけわたしている**。

これはなぜなのか？ チヘイゼ、ツェレテリ、ステクロフの一派が「誤り」をおかしているからであろうか？ ナンセンスである。そんなふうにかんがえることができるのは、俗物であつて、マルクス主義者ではない。原因は、プロレタリアと農民の**自覚と組織性が不十分**なことにある。前記の指導者たちの「誤り」は、彼らの小ブルジョア的な立場にある。彼らが、労働者の意識を明晰にするのではなくて、**くもらせている**点に、小ブルジョアの幻想をくつがえすのではなくて、**もたせている**点に、大衆をブルジョアジーの影響から解放するのではなくて、この影響を**つよめている**点にある。

われわれの同志までが、いますぐ臨時政府をたおすべきかどうか、というふうに「単純に」問題を提出して、きわめて多くの誤りをおかしている理由も、以上の点からしてすでにあきらかなはずである。

私はつぎのようにこたえる。(1) 臨時政府はたおさなければならない。なぜなら、それは、全人民的な政府ではなく、寡頭支配的、ブルジョア的な政府だからである。それは、平和も、パンも、完全な自由も、あたえることが**できない**。(2) いますぐそれをたおすことはできない。なぜなら、それは、労働者代表ソヴェトとの、まず第一に、主要なソヴェトであるピーテルのソヴェトとの、直接また間接の、正式のまた事実上の、**協定**によってささえられているからである。(3) 一般にそれを普通の方法で「たおす」ことはできない。なぜなら、それは、**第二の政府**、すなわち労働者代表ソヴェトがブルジョアジーに

あたえている「支持」に基礎をおいているからであり、しかも、この第二の政府は、労働者と農民の大多数の意識と意志を直接に表現する、ただ一つ可能な革命政府だからである。労働者・雇農・農民・兵士代表ソヴェトのような型の政府よりも高度な、いっそうすぐれた政府を、人類はまだつくりだしていないし、われわれは今のところそういう政府を知らない。

権力となるためには、自覚した労働者は、多数者を味方に獲得しなければならない。大衆にたいする暴力が存在しないあいだは、これ以外に権力に到達する道はない。われわれは、ブランキ主義者ではなく、少数者による権力の奪取を支持するものではない。われわれは、マルクス主義者であり、小ブルジョア的陶醉や、排外主義＝祖国防衛主義や、空文句や、ブルジョアジー依存やに反対するプロレタリア的階級闘争の支持者である。

プロレタリア的共産党をつくりだそう。ボリシェヴィズムの最良の支持者たちはすでにそういう党の要素をつくりだしている。プロレタリア的階級的活動のために結束しよう。そうすれば、プロレタリアのなかから、貧農のなかから、われわれの側にうつつてくるものがますます多くなるであろう。なぜなら、生活は、チヘイゼ、ツェレテリ、ステクロフらのような「社会民主主義者」や、これよりはもっと「生粋」の小ブルジョアである「社会革命派」等々の小ブルジョアの幻想を、日一日とうちくくだらうからである。

ブルジョアジーは、ブルジョアジーの単独の権力に賛成である。

自覚した労働者は、労働者・雇農・農民・兵士代表ソヴェトの単独の権力に——冒険によってではなく、プロレタリア的意識を明晰にし、それをブルジョアジーの影響から解放することによって準備される単独の権力に、賛成である。

小ブルジョアジー——「社会民主主義者」、社会革命派、その他、その他——は動揺して、この明晰化、この解放を妨げている。

以上が、われわれの任務を規定している現実の階級的な勢力関係である。

第 24 卷 P21~24『二重権力について』

新聞『プラウダ』第 28 号、1917 年 4 月 9 日

注)『現在の革命におけるプロレタリアートの任務について』で始めて、全集の中で「共産党」と言う言葉が出てきた。(青山)

## 要旨

レーニンは『二重権力について』の中で、求められる「権力の型」とその実現の仕方を示している。

求められる「権力の型」は、議会制ブルジョア民主主義共和国に一般に存在している権力とは、まったくちがった種類の権力、パリ・コンミュンと同じ型の権力、つまり、(一)～(三)の基本的な標識を持つ権力であること。その実現の仕方は(1)～(3)という条件の基で「権力となるためには、自覚した労働者は、多数者を味方に獲得しなければならない」こと、「大衆にたいする暴力が存在しないあいだは、これ以外に権力に到達する道はない」こと、「われわれは、ブランキ主義者ではなく、少数者による権力の奪取を支持するものではない」ことを強調し、そのために、プロレタリア的共産党をつくりだし、プロレタリア的階級的活動のために結束して、労働者の意識を明晰にしてブルジョアジーの影響から彼らを解放することが必要であり、そのことを通じて、プロレタリアと農民の

自覚と組織性を高めることである。そして、それを妨げている小ブルジョアジーの役割を暴露することである。

### コメント

- ① 2月革命によって国家権力が新しい階級の手にうつり、その限りでは「ブルジョア民主主義革命は終了した。」
- ② 公式の臨時革命政府とそれに協力する「労働者・兵士代表ソヴェト」＝「プロレタリアートと農民の革命的民主主義的独裁」の権力、二重権力が出現している。
- ③ しかし、「労働者・兵士代表ソヴェト」の内部には、少数のプロレタリア的分子と多数の小ブルジョア的分子がおり、小ブルジョアジーの役割を暴露することにより労働者の意識を明晰にする必要がある。
- ④ 「社会民主党」の公式の指導者たちは全世界で社会主義を裏切り、ブルジョアジーのかわりに寝返ってしまった。プロレタリア分子は「社会民主党」という名称のかわりに、共産党と名乗るべきである。

### 党の名称を改める理由

(一〇) 名称を改めること、なぜなら

(α) いまの名称は正しくない

(β) 社会排外主義者によって汚されている

(γ) 選挙で国民を混乱させる、なぜなら、社会民主党＝チヘイゼ、ポトレソフ一派

第41巻『『遠方からの手紙』(第5信)の下書き P496～497

1917年3月7日から12日(20日から25日)のあいだに執筆